

ななごう

# 議会だより

4月  
2014 vol.132



- 議員と市民の意見交換会「しゃべっぺ」Q&A… 3～7
- 新年度予算…… 8～12

議会ホームページ検索

南陽市議会

検索

## 26年度一般会計・特別会計予算を可決

# 「議員としゃべっぺ」の意見を 予算特別委員会等で質疑



# 3月 定例会

### 予算特別委員会

26年度一般会計当初予算は132億7千万円

予算特別委員会は3日間にわたり開催されました。一般会計予算案については反対意見がありました。起立採決の結果、賛成多数で可決しました。

特別会計予算案8件は全会一致で可決しました。

今年度の予算は、国の地方財政対策もあり、社会保障、地域活性化、防災、減災事業などに対応する財源が確保されました。また継続事業である新文化会館整備事業に9億2000

25年度3月定例会は3月3日～20日まで開催されました。人事案2件、25年度補正予算案5件、26年度予算案9件、条例案29件、計45件を全て可決しました。最終日に出された追加議案、消防ポンプ取得および26年度補正予算案1億4140万円についても可決しました。

今回は、2月に行った市民との意見交換会「議員としゃべっぺ」で出された市民の意見を取り上げて、予算特別委員会等で3日間にわたり質疑を行いました。一般質問は5名が行い、新文化会館の運営、林業の活性化、防災体制の充実、再生可能エネルギー等について当局の考えをたえました。

万円を追加し、前年度比9.7%の増となりました。

医療・介護保険関係特別会計予算は、給付費や医療費の増が見込まれ、71億950万円（前年度比1.3%増）となりました。

### 市民の声を

#### 議会で議論！

2月に開催した市民との意見交換会「議員としゃべっぺ」で出された市民の意見を予算特別委員会等で質疑しました。質問した議員は何とかがして市政に反映させたい思いで、何度も答弁を求める場面が多くみられ、委員会

は3日間に亘りました。その質疑応答の記事は3～7頁をご覧ください。

### 常任委員会付託審査

消費税増税に伴う条例の一部改正を全て可決

3常任委員会に付託された議案は、消費税増税に伴い公共施設の使用料を改正するものがほとんど。

本会議では、使用料にまで消費税の価格転嫁は納得できないとの意見があったため、起立採決を行い、賛成多数ですべて可決しました。

特定秘密保護法廃止を求める請願は不採択

3請願が出され、その内「特定秘密保護法廃止を求める請願」は、総務常任委員会で賛成少数で不採択となりました。本会議では請願に対する賛成討論があり、起立採決の結果、8対8の同数となったため、議長裁決で不採択となりました。

採択した請願は次のとおりです。

○防災工事等に関する請願

○南陽市農業振興対策に関する請願

# あなたの質問 答はこちら！

答は市当局の回答です

議員と市民の  
意見交換会  
しゃべっぺ



## 中川

**問** 新文化会館建設で  
財政は大丈夫か。

**答** 現状で夕張になる  
心配は全くない。

**問** 市民サービスが低  
下しないか。

**答** 市民サービスは子  
育て支援など、むしろ  
大幅に改善している。  
必要なマンパワーは財  
政規律に配慮して確保  
したい。

**問** 白竜湖のその後の  
経過は。

**答** 最低限の草刈りな  
ど環境整備を続けたい。  
**問** 白竜湖の自然を守  
る会への支援は。

**答** できる限り応援し  
ていきたい。

**問** 白竜湖の今後の整  
備の考えは。

**答** 文化財保護法があ



環境整備が待たれる白竜湖

り前に進まない。

**問** 和歌山県新宮市の  
浮島の森も同じ泥炭層  
だが、京都大学の先生  
は、人の手をかけなく  
れば自然は守れないと  
積極的に浚渫と排水を  
している。まずは団体  
で調査研究するのに行  
政で助成を願う。

**答** やぶさかではない。

**問** 消防広域化で救急  
車の到着が遅くなるの  
ではないか。

**答** 初動が遅くなるこ

とはない。本市は2台  
広域化で補う。住民の  
利用にもモラルを。

**問** 消火栓の収納箱に  
あるホースの管理を。

**答** 消火栓は市内561カ  
所、収納箱はそのうち  
175カ所。収納箱は地区  
が設置し管理すること  
を周知していきたい。

**問** 中川からハイジア  
に抜ける市道のU字溝  
が枯葉などで詰まり困  
る。また、冬期間閉鎖  
は解除できないか。

**答** パトロールを強化  
して維持管理に努める。  
冬期間通行できるように  
に検討を進める。

**問** 中川公民館の修繕  
について。

**答** クロスは公民館と

協議して対応。水銀灯  
は25年度中に修繕。

**問** 豚舎の臭気対応は。

**答** 農林課を通しての  
指導・要請と事例研究  
し、効果があがる助言  
をしていく。

**問** 市役所からの電話  
は、着信履歴に発信元  
の課を明示できないか。

**答** 費用の面で難しい。

## 金山

**問** 農業用の乗用草刈  
機の軽自動車税につい  
て適正な取扱いを。

**答** 27年度から農耕作  
業用自動車として課税  
する方向で検討。

**問** 地区の団体数が多

いので、整理統合や会  
議の日程調整できない  
か。

**答** 地区のなかで役割  
分担を。市の会議は日  
程調整できると思う。

**問** 金山の交通危険箇  
所を追い越し禁止区間  
にできないか。

**答** 警察に規制を要望  
していく。

**問** 金山公民館にも主  
事を置いてほしい。

**答** 今後の検討課題。



金山地区しゃべっぺ

# ・ 沖郷の丸堤を憩いの場に ・ 防災センターのあり方は

## 沖郷

**問** 社会教育課結婚推進室主催の「婚活イベント」に人数制限・年齢制限などを設けないで、独身者が誰でも参加できるようにすべきではないか。

**答** 沖郷の丸堤を市民憩いの場に。  
地元の方が環境整備を進めるための遊歩道、作業道など、基盤づくりを行う。

**問** 災害時の情報源としてケーブルテレビのエリア拡大を希望する。  
**答** 地域全体の要望が前提。防災無線の整備で災害情報共有化を図る。

**問** 赤湯駅から新文化会館までのアクセス道路整備は。  
**答** 若狭郷屋2号線は26年度完成。市役所の南北の市道は開館に向け整備。赤湯駅東側は歩道整備が必要。駅西側は整備済み。

**問** 南陽高校に行く市道が雪道になると狭くて行き来できない。  
**答** パトロールして安全確保に努める。道路に雪を出さないこともお願いしたい。

**問** 全てが複数人数の募集ではない。希望があれば一人で参加も可。  
**答** また、女性の応募がないとイベントは成立しない。実績アンケートなどから年齢のバランスも考慮し、人数も多すぎると対話の機会が少なく、男女20人対20人くらいが適正と考えている。



沖郷 丸堤

**問** 赤湯停車場線の一刻も早い整備を。  
**答** 赤湯工区は25年度で完了。電柱の支柱は26年度。113号までの二色根工区は26年度から県が着工し、32年度が完成予定。113号から駅までは早期着工を要望する。

**問** 赤湯停車場線の一刻も早い整備を。  
**答** 赤湯工区は25年度で完了。電柱の支柱は26年度。113号までの二色根工区は26年度から県が着工し、32年度が完成予定。113号から駅までは早期着工を要望する。

**問** 猿や熊の被害が深刻だが、なぜ捕獲した熊を山に戻したりするのか。  
**答** 「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律」に基づき、適切に対応している。

**問** 経費削減のため、市報を月1回発行にしてはどうか。  
**答** 効果が薄く、その他の配布物が増える。

**問** 沖郷中学校のスポーツが弱い。対策すべきでは。  
**答** 学校教育の一環としての部活であり、勝つだけが目的ではない。期待できる部も生まれてほしい。

**問** 沖郷中学校のスポーツが弱い。対策すべきでは。  
**答** 学校教育の一環としての部活であり、勝つだけが目的ではない。期待できる部も生まれてほしい。



防災センター

# ・シニア団体に助成金増額を ・小滝小を老人福祉施設にしては

## 吉野

**問** 中学生のインターナショナルセミナーも意義のあるものだが、市内で活躍する中年層の先進地等視察研修の企画の創設はできないか。また、連合婦人会活性化のために助成金の増額をお願いする。

**答** 中学生は経済力がなく、自立もしていない。これから時代を担う青少年に投資(企画)するのは当然。シニアは独自の研修を現在もしている。リーダーを育てる自主的な研修なら積極的に支援する。助成金は、他の団体への波及もあるので一部だけへ増額はできない。

**問** 学校統合で廃校となった校舎や休校の小



休校の小滝小学校

**問** 滝小学校の利用状況は。老人福祉施設への活用はどうか。今後の利用方法は。

**答** 小滝小学校は地区民を交えた「校舎等検討委員会」を立ち上げて検討。その中で地域の意向を大事にすること、休校してから2年間で見通しを固め、教育的活用を図るとした。

南陽市のためであれば、あらゆる選択肢がある。

**問** 新文化会館建設は地元業者との随意契約で地産地消を図れなかつたか。

**答** 随意契約はできなかつたが、地産地消に向けて最大限努力する。

**問** 最大限の利活用を望む。

**答** 魅力ある施設となるよう企画、準備する。

**問** 災害時、被災者への職員対応は十分な配慮を心掛けてほしい。

**答** 今後マニュアル化を図り、職員の研修、教育に力を入れる。

**問** 有害獣について、どのような対策や助成制度があるか。

**答** 有害獣対策は3項目。①農家への直接補助として電気柵等への3分の1補助。②被害防止策として、JAへの対策費用補助。③インター確保のための狩猟免許への補助。

## 赤湯

**問** 置総からの最終バスは南陽病院で中川方面の接続がない。接続できないか。

**答** 午前診療に対応するダイヤ編成になっている。午後のニーズは少ない。コストの問題もありバスだけの完結は難しい。

**問** 空き家を解体すると固定資産税が4倍に上がることが放置の要因になっている。自分の意志で解体した場合に固定資産税を一定期間据え置くということが可能か。

**答** 国でも検討されている状況なので、その動きを見守りたい。

**問** 「えくぼプラザ」の電話が104でわかるように。

**答** 電話帳に「えくぼプラザ」でも記載する。



赤湯地区しゃべっぺ

# ・東北中央道中川PA活用 ・学校は避難所の役割を

議員と市民の  
意見交換会  
しゃべっぺ



結城記念館

**問** 新文化会館の維持費は。

**答** まだ詳細は分析していないが、縮減、見直していく。

**問** 市民が気軽に利用できるか。

**答** そうしていきたい。

**問** 新文化会館の公演に有名アーティストを。

**答** 希望に沿うよう頑張りたい。

**問** 60億を超えないか。

**答** 外構、駐車場、アクセス道路はその枠に入っていない。

**問** 起債の償還は。

**答** 3年据置、20年償還。年間返済額は約4000万円で半分が市の負担。利率1%。

**問** 工事している東北中央道の中川地区パーキングエリアで地場製品の販売ができないか。

**答** 常設は無理だが臨時なら利用可能。

**問** 本市に道の駅か物産館がないか。

**答** 市の土地利用計画などの課題もあるので慎重な検討が必要。

**問** 吉野川改修は可能な限り早い完成を。

**答** 一刻も早く整備完了するよう、県に強く要望していく。

**問** 結城記念館の案内ボランティア養成と全国発信を。

**答** 友の会組織活用で案内は可能。ホームページにより発信中。

**問** おりはた駅近くの水路に雪を投げると下流が溢れるようになった。対応できないか。

**答** 地区内で話し合いをして、現在の水路の機能を活用願いたい。



復旧工事が進む吉野川

**問** 危険空き家102軒の対応は。

**答** 空き家の適正管理、有効活用 of 意見をいただき、条例をつくる。

**問** 漆山小学校の下で崩れる所もあるので改善を。

**答** 本来の管理は農業用水管理者であるが、災害の応急処置は行った。

**問** 地域の防災リーダーとなる防災士育成に補助する考えは。

**答** 防災士の責任や権限を整備した上で、補助を検討する。

**問** 中沢林道修復はいつまでかかるか。

**答** 26年10月に修復完了となる見込み。

## 漆山

**問** おりはた駅近くの水路に雪を投げると下流が溢れるようになった。対応できないか。

**答** 地区内で話し合いをして、現在の水路の機能を活用願いたい。

**問** 中沢林道修復はいつまでかかるか。

**答** 26年10月に修復完了となる見込み。

# ・ 向山球場の施設整備を ・ 梨郷地区の冠水対策を

## 宮内

**問** 体育施設の市外利用者から使用料を徴収すべき。

**答** 向山公園野球場及び総合公園は市内外を問わず無料。使用申請は市民優先で受付。使用料は今後の検討課題とする。

**問** 市外利用者が無料では、本市に経済効果もなく納得がいかない。

**答** 早急に関係課と検討したい。

**問** 市外利用者には宿泊はせめて赤湯温泉を

利用してほしい。

**答** 赤湯温泉の利用を求めよう、条例化するのではなく南陽市が活性化するようなことをお願いしていく。

**問** 新文化会館は誰が経営責任者か。

**答** 市長になる。

**問** 向山B球場ダッグアウト周りの整備を進めてもらいたい。

**答** 29年のインターハイに向けて総合的に進めていくが、現地確認

をして容易なものは早急に進めていく。

**問** A球場のダッグアウトにバックを置く棚も設置願いたい。

**答** 容易にできるものであれば先行して実施したい。

## 梨郷

**問** フラワー長井線のバスへの転換も含めたオープンな議論をしてもらいたい。

**答** 沿線2市2町の協議会で廃止についての口火は切れない。今は利用促進にご協力を。

**答** 雪解け後に現地調査して意向に沿いたい。

**問** 若者定住には雇用、企業誘致が必要だ。活動費を予算化すべきだ。

**答** 相当の企業を訪問している。具体的な提案があれば予算化する。

**問** 子育て応援定住交付金事業の効果は。

**答** 3カ年で29件、99名が利用。市外からの転入は3年で8件。大きな効果を生んでいる。

**問** 雪下ろし事故防止のための講習会を。

**答** 自主防災組織の研究として企画する。

**問** ハイジアパーク玄関付近の駐車スペース

は障がい者優先にしてほしい。

**答** 一般の方については玄関付近への駐車禁止の標示等を行い、対応していきたい。

南陽市議会、初の試み「議員としやべっぺ」様々なご意見・ご質問をいただきました。参加された皆さん、ありがとうございました。次回はより多くの皆さんのお越しをお待ちしています。



整備が急がれる向山B球場



よく冠水するフラワー長井線沿い



新文化会館工事

全国初の大型木造耐火公共施設として注目を集める新文化会館。本体工事は発注済みですが、今後は設備棟や空調設備、舞台関連の工事を発注し、26年度内の完成、27年度中の開館を目指します。

災害時の避難施設としての機能も充実させるため、県の再生可能

エネルギー導入支援事業補助金を活用して、災害に強い太陽光発電設備を整備します。(8125万円)

また県の有機ELモジュール導入支援事業補助金を活用して、次世代照明として評判が高い有機EL照明機器を和室に設置し、CO<sub>2</sub>軽減を図ります。(250万円)

その他の事務諸費を加え、26年度は10億1075万円の予算を計上しました。

今年度に完成する本施設の進行状況を見守るとともに、市民が有効活用しやすい施設となるように期待します。さらに完成後の運用計画にも注視していきます。

新文化会館関連予算

10億1075万円

26年度当初予算  
**132億円**  
ここに  
**注目★**

防災用緊急伝達システム等

**5,498万円**



緊急伝達システム

消防団員の非常召集および住民への異常等の発生の周知を、警鐘伝達から電子式サイレン伝達にするものです。このシステムは、警

鐘台に登ることなく下にある操作盤でサイレン吹鳴と警報等の内容を拡声器で広報できるものです。このシステムの設置

により、安全に迅速に情報が伝達できます。市では広報可能エリアを調査しながら順次設置しています。

自主防災組織にFM端末配置

**246万円**

市では、災害発生時に避難勧告等の情報をラジオ放送できるよう、(株)ニューメディアと「災害時の放送要請に関する協定」を締結しています。

この度、災害発生時にエフエムNCVの電波を自動的に起動する専用ラジオを各地区(自主防災組織)に配置し、情報を迅速に伝達できるようにします。

この専用ラジオは、起動時にサイレン音が鳴り、その後情報が流れるようになっています。

## 小学6年生までの医療費を無料化

# 1億905万円

子どもを安心して生み育てられるように、子育て家庭の負担軽減と、子どもの健やかな成長に寄与することを目的として、子ども医療費無料化を実施しています。

無料となることで、

これまでより医療機関等を受診しやすくなり、医療費の伸びが想定されますので、山形県で行っている「夜間小児救急電話相談」で専門の看護師に相談したり、お薬手帳を活用し、重複受診のないよう適正

受診を心がけていただくようお願いいたします。医療費無料化の内訳は、小学6年生までの外来分4238万円、就学前乳幼児の入院と外来分6085万円、小学生・中学生の入院分582万円です。

## 宮内こども園を整備

# 8,917万円



宮内こども園完成予想図

宮内認定こども園（仮称）は、宮内幼稚園を運営する学校法人南陽学園が主体となり、宮内黄金町地内に建設されます。

定員は幼稚園が75人、保育所は0歳児保育を含む50人の計125人で、幼保連携型認定こども園として運営されることとなります。

建設工事の完成は6

## 特定不妊治療費を助成

# 200万円

不妊症とは、子どもを望む夫婦が1～2年にわたって妊娠に至れない状態とされます。

近年、晩婚化や卵子の老化、男性側の問題などの原因で、子どもが欲しいけれどもなかなか授からず、不妊治療を受けているご夫婦が増えています。

不妊治療は、身体的、精神的負担も大きいうえに、費用が高額になるという経済的理由から、子どもを持つことを諦めざるを得ない方もおられます。

そのため、特定不妊治療（体外受精及び顕微授精）を受けているご夫婦を対象に、県の助成を受けていることを条件として、1年度あたり1回10万円を上限に3回まで、助成期間は通算5年間を限度に市で助成します。

月末となっており、7月に幼稚園の引っ越しを行い、認定こども園の開園は、9月までにいう予定です。

※認定こども園は、幼児教育と保育を提供する機能と子育て支援機能をもつ施設です。



## その他の主な事業

☆こぶし荘避難道路	400万円
☆沖郷第3学童増設	7,917万円
☆菊づくり伝承者を養成	30万円
☆道路改良 若狭郷屋2号線	5,700万円
☆道路改良 梨郷インター線	7,200万円
☆市長選挙費（7月）	1,418万円

# 26年度 一般会計予算の質疑要旨

## 予算特別 委員会

高橋 一郎 議員

### 新文化会館について

◎現段階で総額いくらになるか。

〈文化会館整備課長〉  
現段階では60億だ。

◎木質バイオマスチップ調達は。

〈文化会館整備課長〉  
チップは規格化されたものを念頭に調達する。

◎太陽光発電は。

〈文化会館整備課長〉  
発電50kw/h、蓄電15kw/hで壁掛け型を検討している。

◎今後の発注区分は。

〈市長〉 音響・照明・舞台・機械・エネルギー等の発注区分になる。

◎備品のピアノは中古が良いという意見もあるが。

〈市長〉 ピアノは専門家の意見も含め検討していく。

◎交付金増額の見込みはないのか。

〈市長〉 交付金はプラスになるよう努力中だ。

### 公共施設の保守、更新基準は

◎公共施設の大規模修繕、建替えについての基準は。

〈企画財政課長〉 新地方公会計制度導入で、適正な資産台帳整備となり、建替え、統廃合などの評価が可能になる。また、長寿命化、維持管理費の低減、財政の平準化にも資することになる。

是非、財政の平準化

のためにも、年次計画を立て実施してほしい。

◎100万円の幼稚園施設整備費の内容は。

〈管理課長〉 赤湯幼稚園の南側のフェンスと冷暖房の整備費となっている。

◎遊休市有地のリストアップと売り払い計画はあるか。

〈企画財政課長〉 普通財産のリストはある。

希望者には積極的に売り払いしたい。

◎PM2.5の本市の取り組みは。

〈市民課長〉 注意情報

が出れば、小学校、幼稚園、保育所には注意喚起の周知をしている。

◎職員の防災マニュアルは勤務時間内と以外で作成されているか。

〈危機管理課長〉 勤務時間内と外とで分けて作成している。

◎本市の積極的投資による経済波及効果の算出はしているか。

〈市長〉 地産地消が功

を奏して市内企業は落ち込んでいない。投資効果については課題として検討する。

◎市民税の8割を超える個人市民税を負担している勤労市民に対する労働施策はいかに。

〈市長〉 まずは企業の体質を強化すること。

希望をもって働くことにより生産性が上がり賃金も上昇するという良い循環にしたい。

高橋 篤 議員

### 市役所に喫煙所を

◎たばこ税の市税収入2億3000万円。市役所に喫煙所を設置できないか。

〈市長〉 議会の提案があれば考えざるを得ない。

吉田 美枝 議員

### 学童保育は適正規模を

◎学童指導員等処遇改善補助金とはどのような内容なのか。

〈福祉課長〉 県の安全子ども基金で、民間の学童保育員の処遇改善で年額18万円改善を見込むもの。



実物大の柱の模型



急ピッチで建設中の新文化会館

◎赤湯・沖郷は適正規模の2倍近いがどう考えるか。

〈福祉課長〉 子ども子育て会議の中で市の考え方を定めていきたい。

◎保育について関連。新制度に移るための子ども子育て会議の進捗状況はどうか。

〈福祉課長〉 新年度からスタートできるよう南陽市子ども・子育て会議設置要綱を制定している。

◎委員には子育ての当事者等も含まれるか。

〈福祉課長〉 各子育て施設の保護者の代表や園の関係者など各層から予定している。

**若者の就農に予算をつけ支援すべき**

◎青年就農給付金事業があるが、新規就農者は何人いたのか。

〈農林課長〉 年間5〜6人。

◎農地集積推進事業は予算が倍増しているが順調に進んでいくか。

〈農林課長〉 今年度から中間管理機構事業の利用拡大を見込む。

◎6次産業の研修会参加者で県の助成を受けた方はいたか。

〈農林課長〉 国の指定を受けた方が3件。6次産業のネットワークを立ち上げた。販売戦略の相談など進める。

◎農林課、商工観光ブランド課が連携して後押しすることを望む。

片平 志朗 議員

**市内企業を消費増税から守れ**

◎大手企業のベースアップの本市への波及効果はどの程度か。

〈商工観光ブランド課長〉 数字はわからないが、市内100社に企業動向調査したところ、製造業を中心に良くなるという回答がプラスになった。

◎市内企業でどの程度ベースアップするかを

調査するのか。

〈商工観光ブランド課長〉 毎年7月の労働雇用実態調査の項目のなかでどうするか検討。

◎やるなら今でないと市政に反映されない。今春には消費税アップもある。

〈商工観光ブランド課長〉 首都圏のベースアップは地方にはタイムラグがあることを踏まえ、条件が整った時点での調査を考えた。

◎消費税増税後、中小企業の価格転嫁についてどう考えるか。

〈商工観光ブランド課長〉 消費税転嫁法で適正な転嫁を願う。

◎キャンプ場管理者が高齢のため、運営の見直しなどについて検討しているのか。

〈スポーツ文化課長〉 現在の管理者と話し合いをした結果、高齢だ

が継続するとの返答をいただき、いろんな作業が生じた場合は行政と共同で実施する。

◎縄文の里の保存地域として活かせる整備はできないか。

〈スポーツ文化課長〉 周辺整備の計画と併せて、きのこなどを栽培してキャンプ場利用者

に提供したい。

はどのようなものか。また、その導入の背景は。

〈企画財政課長〉 各自自治体の債務改革としてスタートした。内容は、バランスシートなどの財務書類を企業会計の導入で、より詳細に分析を加えて作成するものだ。

◎作成、公開はいつ頃を目標とするのか。

〈企画財政課長〉 26年度中に国の計画が明確になる。それに基づき進めたい。

現在、実質公債費比率、将来負担比率等の基準で評価されているが、財政状態を現わすバランスシートも重要な要素であり、他の自治体に遅れをとることのないようしっかりと準備を進めて頂きたい。



山口 正雄 議員

**新地方公会計制度による財務書類の公開はいつか**

◎新地方公会計制度と

### 障がい者スポーツへの支援は

◎障がい者スポーツの支援について、南陽市はどのように取り組んでいるか。

〈スポーツ文化課長〉

高齢者の軽スポーツやニュースポーツの普及活動はしているが、特別に障がい者のスポーツ振興はしていない。また、アスリートについては県の方針に従って検討していく。

◎障がい者が気軽に楽しめる環境づくりをしていただきたい。

〈福祉課長〉身体障害者福祉協会の大会に福祉バスを活用しながら参加している。また、長寿センターでも機能訓練をしており、環境づくりを支援している。



### 船山 利美 議員

#### 子育て支援強化を

◎本市は「子育て支援宣言都市」だが、途中転入者の3歳未満児が待機となったり、学童の延長保育が短く、期待したほど充実していない。子どもを持つ共働き世帯としては、もう少し延長できるようなサポートも必要ではないか。

〈福祉課長〉未満児保育の施設は、現在は双葉会のみ。年度途中は

やむを得なかった。今後、新施設ができれば解消できるものと思う。学童について、市直営は午後6時だが、委託施設は午後6時30分まで特別保育ができる。

◎27年度から制度が変わるとのことだが、延長保育は実現できるのか。

〈福祉課長〉地域における事業計画の作成を行う予定になっている。関係者の意見を聞きながら市の考えを定める。



### 6次産業化の予算縮小はなぜ

◎6次産業化については、国の「農林水産業・地域活力創造プラン」の中でも積極的に推進しているが、本市の極端な予算縮小は好ましくないと思うが。

〈農林課長〉昨年は6次産業ネットワーク推進協議会を立ち上げるための県の補助があったが、今年度はそれがない分縮小した。しかし、取組みの提案などが具体的にいったら、相談会や指導を検討する。

◎近隣自治体でも重点施策として、予算配分をして取り組んでいる。南陽市は。

〈農林課長〉具体的に相談があれば、国県の直接の補助を紹介する。場合によっては補正で対応したい。



### 白岩 孝夫 議員

#### 烏帽子山公園の桜を回復させよ

◎さくら樹勢回復事業の概要は。

〈建設課長〉専門家による実態調査で、老木化の進行、排水・保水など土壌の問題、遊歩道整備のときの盛り土による問題などで樹勢が衰えているのが明らかになった。これまでは鳥や虫への対応だったが、樹自体の育成という考え方に改めて対

応する。26年度は保水対策、土壌改良、盛り土撤去による根の活性化。老木化の進行には代替の樹の準備に取り組む。

◎これは10年がかりの事業。公園は重要な財産であり観光資源。公園の長期的な利活用の基本計画が必要だ。

〈市長〉今回、実態がもっと明確になると期待している。長期展望に立った計画を立てて取り組んでいきたい。



烏帽子山公園

# 一般質問と答弁要旨



高橋 弘 議員

## 塩田市長3期目の出馬表明は 新年度予算成立後に判断

◎塩田市長2期目の反省と、3期目出馬の考えは。

〈市長〉2期目の立候補に際し、8項目21の取り組みを掲げ、マニフェストを作成した。進捗状況と成果だが、相対的には100%を超えたのではないかと考える。3期目については、まずは最優先で取り組まなければならない新文化会館建設事業があり、26年度完成を目指し全力を傾注しなければならない。出馬表明は、3月定例会に上程している新年度予算が成立した後、適切な判断をしたい。

◎洪水避難地図(ハザードマップ)の活用と配布された地域及びその指導は。

〈市長〉水害による被害の軽減を図るため、河川が氾濫した場合を

想定し、浸水想定区域を指定。水深を表示した図面を作成し、県は市町村に通告しなければならぬ。19年、最上川、吉野川、屋代川等の浸水想定区域図を基に作成。その後、織機川の浸水想定図を追加、24年全戸配布した。

具体的な活用は、地域の研修会で避難の確認や避難ルートの確認指導をしている。

◎再生可能エネルギーの将来に向けた考えは。

〈市長〉わが国の再生可能エネルギーの発電量は1.6%に過ぎない。本市では太陽光発電や

バイオマスストーブの補助をしている。この度の新文化会館には太陽光発電、大型木質チップボイラーを設置する。数値結果を求めると、メガワット以上の大型発電設備が必要。



白岩 孝夫 議員

## 新文化会館建設後のインフラ整備 負担増を避ける慎重な対応を望む

◎施政方針全般について伺う。「中央花公園からハイジアに至るエリアの有効利用を検討」とあるが中身は。

〈市長〉あのあたりを同一エリアと見立てると、年間数十万人の市民が集う大変貴重なエリア。吉野川の改修が進むと河川敷の利用も容易になる。総体的に利用度を高めるための調査検討。さらに運動施設、保養施設、グラウンド、合宿所などが不足している。それを合わせてハイジアの経営と重ねて検討できないか考えている。

◎市長は市民との対話集会で今後、陸上競技場を作りたいと話していたが、そのことか。

〈市長〉新文化会館に目途がつけば、議員が予想している方向に大きく舵を切ってがん

ばっていきたいと思う。◎市陸上部の今後は。人口減のなか市職員は少しずつ減らさざるを得ないが、他部門への人材の適切な配置も考慮していただきたい。

〈市長〉陸上部員数は、25年度は嘱託職員1名を含め12名。26年度は2名採用、2名退職等で25年と同じ。ニューイヤー駅伝の常連化を目指し、15名くらいを目途に力をつける。

◎特定不妊治療費助成事業の決定に感謝する。今後は早期受診のすずめと出産適齢期などの教育の推進が必要だ。まずはこの事業を市報や公式ホームページでわかりやすく広報を。

〈市長〉人それぞれ違う人生設計をもつので難しいが、不妊症の早期受診に関しては市報などで啓発していく。

# 答 弁 要 旨

## 消費税増税による使用料・利用料等の市民への転嫁はやめよ

佐藤 明 議員



◎消費税増税に対する市長の見解は。

〈市長〉 社会保障制度を維持していくためには、致し方ないものと理解している。

◎全国各地でアンケート調査等をやっているが、いずれも景気回復の実感が無い。増税で売り上げ減、経営悪化への切実な声が寄せられている。市として商業の実態調査をすべきではないか。

〈市長〉 増税に伴い、低所得世帯等の生活に大きな影響を与えることも懸念されるので、適時、適切な対策を国県に要望する。実態調査等も今後の課題としてやっていきたい。

◎一般会計に係る業務として行う事業は、消費税法60条6項で「課税標準に対する消費税額と、控除することが

できる消費税額とを同額とみなす」と規定され

結果的には納税額が発生しない仕組みとなっている。従って使用料等への消費税増税の転嫁は廃止すべきでは。

〈市長〉 光熱水費や警備保障の業務委託等、施設の貸し出しに相応のコストが増加しており、苦渋ではあるが、利用者負担の公平性及び原価主義の観点から引き上げを行った。

◎県内でも山形市等は転嫁していないと聞いているが。

〈市長〉 総務省から通知された内容に沿って行っており、ご理解を。

◎福祉灯油は昨年12月議会でも質問したが、今後の市の考えは。

〈市長〉 国県の補助等の支援措置や、灯油状況、助成の時期等を考慮しながら検討したい。

## 森林整備と活用のために林道整備を急げ！ 協働のまちづくりのため「自治基本条例」の制定を！

片平 志朗 議員



◎林道の整備が遅れているが、市の状況は。

〈市長〉 5路線9510m管理している。但し、山間部を走る市道が約14kmあり、これらも林道の役割を果たしている。今後も、作業道や運搬のための路網整備補助を継続していく。

◎市の林道密度は1haあたり1m、市道編入部を入れても2.5mしかない。県平均あたり6.2mを大きく下回っている。林道整備を急ぐよう要望する。

◎自治基本条例の必要性についての考えは。

〈市長〉 「自治基本条例」はまちづくりの基本原則や、市民、行政議会の位置づけ・役割を定めている。その内容は、地方自治法や個別の条例で規定されて

いる事項も多い。本市では第5次総合計画の中で教育、産業、健康のまちづくりを掲げ、戦略としている。青年・女性団体を始めとする地域コミュニティは目覚ましい成果を挙げている。協働のまちづくりが進展している。条例の是非を論ずるのではなく、今後もコミュニティの育成に力を入れ協働のまちづくりを推進していく。

◎市長の思いも理解できるが、少子高齢化社会の到来で、様々な課題解決は従来の行政手法では限界が来ている。是非、庁内に研究会を立ち上げ、検討していただきたい。





高橋 一郎 議員

## 新文化会館 落札不調の原因は？ 常時1300席では一体感うまれない

◎25年9月の工事発注で、(株)シエルターをはじめKES構法実績のある大手業者を共同企業体に最初から入れて執行すれば、地元業者だけの共同企業体と比べて、安く落札できたのではないかと。<市長> 南陽市の経済活性化、地産地消のために総合評価方式による条件付き一般競争入札で執行した。予定価格を大きく上回る応札となったのは、増税前の駆け込み需要などもあり、急激な建設価格の上昇、技術・技能者の不足によるものだ。

◎市民は観ること演じることが両立できるホールを望んでいる。1300席の大ホールでは、優れた芸能は堪能できるが、市民が晴れの舞台で歌や踊りなどを披露するには大きすぎて一体感が出ない。仕切る方法はないのか。<市長> 大ホールの客席は1階層とし耐震安全性、人命の安全と機能確保を優先。可動席を設けたので1000〜1300席可能。

◎小ホールの舞台は、どのようなものか。<市長> 500人収容可能な多目的用途なので、舞台は移動式とし、音響設備は常設する。

◎企画運営の発案と決定はだれが行うのか。<市長> 26年度に市民に自主事業を含めた興業誘致のアンケート調査を行い、プロモーター委託業者と連携して進める。利用者団体協議会もつくる。

◎市民の使用料金は。<市長> 同規模ホールを調査中。減免措置も視野に入れながら利用料金を設定する。

### 議会報告

#### 置賜広域病院 組合

2月定例会は2月12日南陽市議会議場で開催され、9議案が原案どおり可決されました。

◆25年度事業会計資本  
余剰金の処分  
余剰金1億7225万円を利益余剰金に処分するもの。

◆26年度事業会計予算  
第2次病院改革プランを踏まえ、154億7400万円余としました。

◆一般職員の給与条例の一部改正  
構造改革により今まで昇給抑制を受けていた職員で、山形県人事委員会勧告を踏まえ回復調整するもの。

◆診療所の使用料、手

#### 数料

消費税率が3%引き上げられることより、病院や診療所の使用料・手数料を改正するもの。

#### ◆診療科目の増設

総合病院に「呼吸器科」と「救急科」、長井病院に「婦人科」が増設されます。

#### 置賜広域行政事務組合

2月定例会は2月20日米沢市議会議場で開催され、26年度予算はじめ、12議案全て可決されました。主なものを報告します。

#### ◆一般職員の給与条例の一部改正

山形県人事委員会の勧告に基づき、55歳以上は昇給停止、45歳未満については1号給または2号給の昇給の復元をはかるものです。

#### ◆26年度一般会計予算

は31億3746万円  
前年比30.8%減。  
大きく減となった主な理由は、千代田クリーンセンターの債務が完済したこと。長井の汚泥再生処理センター工事が完成したこと。

#### ◆26年度広域消防特別会計予算は19億9千万

前年比22.5%減。  
大きく減となった理由は救急無線デジタル化事業が完成したこと。  
増は、車両3台の更新。高島署の設計料、庁舎耐震診断委託料など盛り込まれました。

#### (置広議員 片平志朗)



南陽署に配備された水槽付消防ポンプ車

## 審査報告

# 消費税増税に伴い、使用料など改定 赤湯温泉入湯料金は10円未満切捨てで 100円変わらず 赤湯元湯も 200円変わらず

## 総務 常任委員会

◆南陽市課設置条例の一部改正

危機管理課の防災及び災害対策業務を充実させるため、防犯に関する業務を市民課に移す。

◆南陽市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

18年人事院勧告を受け、昇給が抑制されていた一部を回復するもの。若年層に配慮したもので、該当者は116名全体で月額約16万円増となる。

◆赤湯財産区温泉条例の一部改正

◆赤湯温泉区営公衆浴場条例の一部改正

◆池黒財産区入山券の権利の取得及び喪失に関する条例の一部改正

◆沖郷財産区入山券の権利の取得及び喪失に関する条例の一部改正

◆防災センター設置及

び管理に関する条例の一部改正

右記5件は、4月1日より消費税が5%から8%に引き上げになるため、使用料等を改定するもの。

議案7件、すべて全員異議なく可決。

◆請願 特定秘密保護に関する法律の廃止を政府関係機関に意見書の提出を求める

この法律の制定については様々な問題があったことは理解できるが、法律自体の必要性は認めるといふ意見と、国民には知る権利があり、この法律には危険性もはらんでおり、廃止を求めるべきとの意見の対立があった。採決の結果、賛成少数で請願は不採択とした。  
(委員長 吉田 美枝)

## 審査報告

# ●教育施設や体育施設等の使用料 消費税増税で料金改定 ●漆山学童施設 双葉会が指定管理

## 文教厚生 常任委員会

◆南陽市教育施設使用に関する条例の一部改正

◆漆山地区ふれあい交流センター設置及び管理に関する条例の一部改正

◆南陽市民会館使用料条例の一部改正

◆南陽市夕鶴の里設置条例の一部改正

◆南陽市屋内体育施設設置及び管理に関する条例の一部改正

◆南陽市老人いこいの家設置及び管理に関する条例の一部改正

◆南陽市診療所使用料及び手数料条例の一部改正

◆南陽東置賜休日診療所設置及び管理に関する条例の一部改正

8議案とも4月から消費税率が5%から8%になるため、使用料などを改定するもので、

全員異議なく可決。

◆南陽市立漆山学童保育施設の指定管理者の指定について

工事進捗状況の現地視察を行った。工期内の完成には見通しが立ち、工事関係者もひと安心といった状況。

指定管理者として、社会福祉法人「双葉会」を指定すること。指定の期間は26年4月1日から29年3月31日までの3年間とすることを全員異議なく可決。

(委員長 高橋 弘)



完成した漆山双葉保育園・学童保育施設

- 消費税率引き上げに伴い、各施設の使用料改定
- 水道料金1m<sup>3</sup>あたり10円引き下げ!!

- ◆ 交流プラザ蔵楽設置条例
- ◆ 勤労者総合福祉センターの設置及び管理に関する条例
- ◆ 小滝多目的集会施設設置条例
- ◆ 金山多目的研修集会施設設置条例
- ◆ 中川地区構造改善センター設置条例
- ◆ 吉野森林交流センター設置及び管理に関する条例
- ◆ 赤湯温泉観光センター設置及び管理に関する条例
- ◆ 総合観光物産センター設置及び管理に関する条例
- ◆ スカイパーク設置及び管理に関する条例
- ◆ 南陽市道路占用料徴収条例
- ◆ 南陽市都市公園条例
- ◆ 南陽市水道給水条例
- ◆ 南陽市下水道条例

13議案いずれも消費

税率引き上げに伴い、使用料等を改定するための条例の一部改正。但し、水道料1m<sup>3</sup>あたり10円引き下げとなる。

◆ 防災工事等に関する請願  
池黒峰岸地区の防災対策を市に求めるもの。委員から26年度での新規採択の要望や、早期植林徹底等の意見が出され、採決の結果、賛成多数で採択。

◆ 南陽市農業振興対策に関する請願  
重点作物の生産振興及び加温栽培作物燃料高騰の支援を求めるもの。委員から施設栽培から露地物まで果実の南陽ブランドを長く発信できるように燃料の支援が必要との意見が出され全員異議なく採択。  
(委員長 白鳥 雅巳)

議会運営委員会視察レポート

報告会を重ねるごとに  
新たな改革が求められる

1月15日から17日の日程で、議会基本条例や報告会のあり方について取り組んでいる千葉県佐倉市、茨城県銚田市に視察に行ってきました。両市では、開かれた議会を目指し様々な点について改革を行っていました。

佐倉市は6町が合併し昭和29年市政発足。銚田市は明治22年より幾多の編入を経て、平成17年に3村が合併し市政施行に至ったものです。

議会報告会には、佐倉市では議員全員が出席。銚田市は3班に分けて報告会を実施していました。両市とも最初に議会の報告をし、その後市民の意見を聞く形式で実施。しかし、回数を重ねることに参加者が減少しており、内容の変更を検討し、今後も継続の考えでした。

本市でも初めて2月に「議員としゃべっぺ」が8会場で開催され、市民の皆様よりご意見をいただきました。これらを議会に反映させるよう努力していきたいと思います。  
(委員長 高橋 篤)



行政視察風景



表紙の写真  
親子で微笑ましい入園式  
真新しい服に身を包み、お父さん、お母さんに抱っこされ、職員の出し物には、目を輝かせておりました。

市の宝である子どもたちの健やかな成長をお祈りします。  
「写真は宮内、漆山双葉保育園」  
(編集委員 山口正雄)

# 議案に対する議員の賛否表 (賛否が分かれたもののみ)

議案	議席番号 氏名 氏会																結果	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16		17
	白岩孝夫	高橋一郎	船山利美	山口正雄	白鳥雅巳	片平志朗	吉田美枝	梅川信治	川合猛	高橋弘	板垣致江子	高橋篤	田中貞一	遠藤榮吉	佐藤明	伊藤俊美	殿岡和郎	
	保	真	敬	敬	保	倫	倫	倫	敬	敬	真	保	無	無	無	敬	無	
平成26年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	○	○	可決
特定秘密の保護法の廃止を求める請願	×	○	○	○	×	○	×	×	×	○	○	×	×	×	○	○	×	不採択
赤湯財産区温泉条例の一部を改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	○	○	可決
赤湯財産区営公衆浴場条例の一部を改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	○	○	可決
池黒財産区入山券の取得、喪失に関する条例の一部を改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	○	○	可決
沖郷財産区入山券の取得、喪失に関する条例の一部を改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	○	○	可決
防災センター設置、管理条例の一部を改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	○	○	可決
教育施設使用に関する条例の一部を改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	○	○	可決
漆山地区ふれあい交流センター設置、管理条例の一部を改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	○	○	可決
市民会館使用料条例の一部を改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	○	○	可決
夕鶴の里設置条例の一部を改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	○	○	可決
屋内体育館施設設置、管理に関する条例の一部を改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	○	○	可決
老人いこいの家設置、管理に関する条例の一部を改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	○	○	可決
診療所使用料、手数料条例の一部を改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	○	○	可決
東置賜休日診療所設置、管理に関する条例の一部を改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	○	○	可決
交流プラザ蔵楽設置条例の一部を改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	○	○	可決
勤労者総合福祉センター設置、管理に関する条例の一部を改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	○	○	可決
小滝多目的集会所施設設置条例の一部を改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	○	○	可決
金山多目的研修集会所施設設置条例の一部を改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	○	○	可決
中川地区構造改善センター設置条例の一部を改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	○	○	可決
吉野森林交流センター設置、管理に関する条例の一部を改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	○	○	可決
赤湯温泉観光センター設置、管理に関する条例の一部を改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	○	○	可決
総合観光物産センター設置、管理条例の一部を改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	○	○	可決
スカイパーク設置、管理条例の一部を改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	○	○	可決
市道占用料徴収条例の一部を改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	○	○	可決
都市公園条例の一部を改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	○	○	可決
水道給水条例の一部を改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	○	○	可決
下水道条例の一部を改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	○	○	可決

○=賛成 ×=反対 議=議長は採決に加わらない 会派:敬=敬陽会 保=保守・公明クラブ 倫=倫政会 真=真風会 無=会派に属さない議員

## 編集後記

「別れと出会い」の季節がやってきました。

この時期につくづく思っているのは、人生はこの「別れと出会い」の繰り返しなのだ。人は別れの悲しさを知り、その人のかけがえない存在を知る。そして新たな出会いを求めて成長します。そう考えると人との出会いは「一期一会」に尽きるのかもしれない。

26年度は編集委員のメンバーも変わりますが、益々のご愛読をお願い申し上げます。



編集委員長 片平志朗  
副委員長 山口正雄  
委員 白岩孝夫 高橋一郎 船山利美 吉田美枝

